

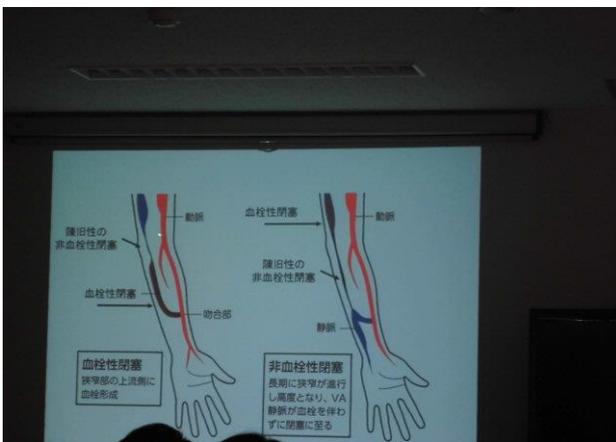
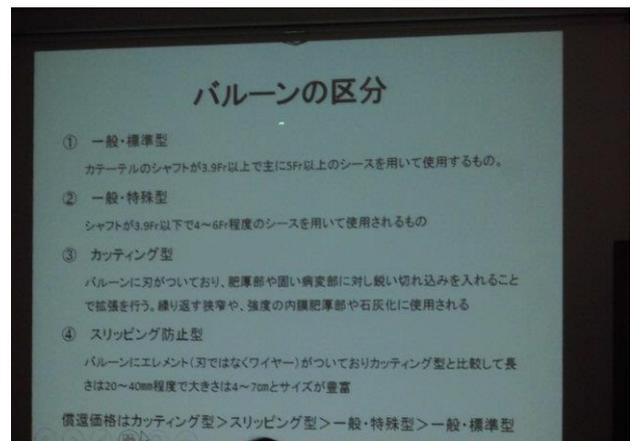
教育研修

日時：平成31年4月16日（火） 17時より開始

場所：新王子病院 4F 会議室A

内容：バスキュラーアクセスについて

講師：製鉄記念八幡病院 腎センター部長 柳田 太平先生



今回は症例報告ではなく『シャント造設とその管理』ということでバスキュラーの種類、自己血管とグラフトでのシャント開存率の比較、VAIVTの適応や使用するバルーンカテーテルの種類や歴史に至るまで幅広い内容の講義をしていただきました。70名ほどのスタッフが参加しており、現場のスタッフの興味、関心の高さが伺えました。質疑応答ではシャントのステント留置に関して、患者さんの苦痛の軽減としての視点や、医療経済の観点からも説明していただき非常に分かりやすい内容でした。シャントのスコアリングシートも共有化することで受診のタイミングを図ることができるのではないかと、今後の展望についてもお話していただきました。シャントは透析患者さんのライフラインであることや、観察や注意点など分かりやすく教えて頂きとても勉強になりました。